

私立短期大学図書館協議会

## 会報

Bulletin of Junior College Library Association

ISSN 0389-4452

編集者：菅原春雄

発行者：鈴木英二

発行所：私立短期大学図書館協議会

〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1

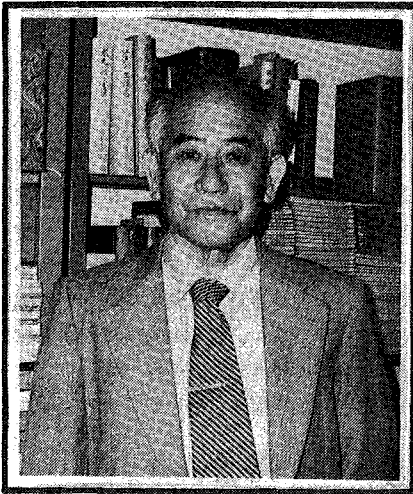
東京女子大学短期大学図書館内

電話(0422-45-4145 内234)

1985. 7. No. 17

## 特集 故林勇一先生を偲んで 1

## 噫！優れた同志の訃に接して



私たちの同志・林勇一さんが4月3日、思いがけなく急逝された。個人とし、また「協議会」として痛感のきわみ。今はただ心からご冥福を祈るのみである。林さんは図書館の職歴半世紀を越える真の「図書館びと」である。私が林さんから世話を受けたのは協議会の発足後で凡そ8年。東海・北陸地区協の実質の中核として他地区に卒先し組織の強化会報の刊行、逐刊物の総目、さらに長期の講習会など主宰され、その功績は多大である。かつ全国理事会あるいは総会の議事運営、諸規程の整備など適切なアドバイスを受けた。時には私信で直接あれ

## 特集 故林勇一先生を偲んで 2

## 林 勇 一 先 生 を 悼 む

私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会会長 千葉善根

愛知淑徳短期大学附属図書館事務長・林勇一先生は、昭和60年4月3日逝去されました。日頃きわめてご健康であり、かくしゃくとしておられたので、昨年11月頃よ

もり・きよし

これと注意を受けたこと再三にわたる。しかも林さんは淑徳短大の図書館事務長という多忙な公務と本会の発展という両道を遂行されてきた人である。

思えば本年1月に「…旧臘入院、今月手術の試練を受けることとなり、総てを医師に委ね、凡夫の私には、天命を知ることは至難なことで一日一日を大切に生きたいと願っております。…」との挨拶(印刷)をもらった。何となく気がかりでW君とも相談したが、その内に退院され出校しておられるとの報告で安堵もしたが、やはり訃報に接し真に残念である。私も老齡、林さんの心境をあれこれ考えることが多い。

林さんの職歴は財団法人名古屋公衆図書館が始まりであろう。同館は矢田績(ミツグ1860-1940)が私財35万円を以て創設し大正14年の開館であるが、同時に優秀な青少年の育英にも尽された人。林さんもその一人として図書館講習所(22期生)を出る。のちに市立図書館に移管された。戦後は短大図書館事務長として現職まま去られたわけである。

私も若い頃に故間宮さんの指示で公衆図書館を見学したことがある。そのとき案内して下さった某司書(11期生)の親切丁寧な好意が忘れらず、林さんに近況を伺ったことがある。

林さんには先輩に当る人であろう。(合掌)

り身体の不調を訴えられ、愛知県ガンセンターに入院加療しておられた時、このように早くお亡くなりになるとは誰もが夢想だにしませんでした。誠に痛恨の極みであ

ります。

林先生は、大正5年名古屋市にお生まれになり、文部省図書館講習所をご卒業後、名古屋市立図書館に奉職され、昭和46年定年退職されるまでは40年間図書館業務一筋に打ち込んでこられました。その間、昭和39年から5年間は南図書館長、昭和44年から2年間は鶴舞中央図書館副館長等の要職を歴任されました。昭和47年には愛知淑徳短期大学附属図書館事務長に迎えられ、日常業務のかたわら、他大学の見本となるような図書館規定集やマニュアルをつくられたり、愛知淑徳大学の設立や同大学図書館情報学科新設にも参画されました。対外的には、日本私立短期大学協会図書館研究委員会の委員として6年間活躍されました。また、私立短期大学図書館協議会においても不可欠なメンバーの一人でした。特に、東海・北陸地区図書館協議会では、事務局の実質的責任者として

### 特集 故林勇一先生を偲んで3

## 林 勇 一 先 生 を 偲 ん で

今年の3月18日に「第2期図書館実務講座」が、東邦学園短大で開催された折、ふと見渡すと林先生の姿が見えなかったので、「おやっ?」と思い、千葉会長にお尋ねしたところ「ちょっと入院されておね……、でも4月には元気な姿を見せられるでしょう。」とうかがい安心して矢先、しばらくして訃報が入りびっくりした次第です。

た  
東海・北陸地区図書館協議会のリーダーであられた林

て会の企画・運営をはじめ、全国に先がけて行った図書館実務講座の講師として地区内図書館及び館員のレベルアップに貢献されました。

これらの功績により昭和55年6月4日図書館法制定30周年記念式典において文部大臣の表彰をうけられました。一方、兵役も経験され、功七級の金鷄勲章に輝かれた一面もありました。このように表彰栄誉をうけたにもかかわらず、先生は溢れる温情をもって人に接しられ、後輩への指導激励を惜しまれませんでした。

先生は68歳の天寿を全うされましたが、死の直前まで図書館界の発展を祈念しておられました。先生のご逝去は大きい損失であり、哀惜の極みであります。

生前の面影を偲びながら、ここに先生のご冥福をお祈り申し上げます。

### 大垣女子短期大学図書館 天 野 信 定

先生には、加盟当初から特別に親しく指導していただき、お世話になった間柄からも私にとって先生の他界はひとしお残念です。先生の語調はやさしいが、時には厳しい意見・助言も述べられるあの柔和な顔が今はなつかしく思い出されます。発会当時より倍増に発展した本協議会を益々充実させてゆく事が、私共の先生に対する銭になるのではと信じ、更に精進したい所存です。

つつしんで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## 昭和60年度総・大会 5月31日開催

### 新会長に鈴木英二氏選出される

#### —昭和60年度私立短図協総大会記録—

日時 昭和60年5月31日(金) 午後1.00～2.00

会場 日本出版販売本社ビル5階会議室

出席 61館70名 委任状137館 計198館

吉岡(相模女子短大)氏の司会で開会、有岡会長代行(鶴見大女子短大)よりあいさつがあり、議長に神戸山手女子短大の八田義一氏を選び、早速議事に入った。

議事 1)昭和59年度会勢、事業報告

2)昭和59年度決算報告、会計監査報告

3)昭和60年度事業計画及び予算案

4)昭和60～61年度役員選出

5)その他

1)について有岡会長代行より次のような会勢、事業報告が行われ承認された。

#### 1. 会勢

北海道地区 16館

東北地区 13館

関東甲信越地区 81館

東海・北陸地区 31館

近畿地区 55館

中国四国地区 23館

九州地区 28館

(計247館)

#### 2. 昭和59年度事業報告

##### 1)昭和59年度総大会

日時: 昭和59年5月25日 13～17時

会場: 中野サンプラザ(東京)

参加者: 39館(43人)

講演会 (13~14:40)

テーマ「これからの図書館員」(講師:中村初雄氏)

総会 (14:40~16:30)

2) 昭和59年度理事会

日時: 昭和59年5月24日 14~17時

会場: 目白学園女子短期大学図書館

議題: 総会への提案議題の審議

3) 昭和59年度本部役員会

同年度内に延7回開催し、協議会の運営に関わる事項について協議した。

4) 昭和59年度短期大学図書館全国研修会

日時: 昭和59年7月30日(月)~8月4日(土)

会場: (株)日本電気第二別館ほか

内容: マイコンによる図書館業務処理

(コンピュータ延70台を用意し、参加者は2日間にわたり実際に機械を操作しながら研修した)

参加者: 117名

5) 図書館実務講座

主催: 私立短期大学図書館協議会

委託実施: 私立短期大学東海北陸地区図書館協議会

日時: 昭和59年5月31日, 同8月21日, 同8月30日の3回にわたって実施

6) 昭和59年度加盟館名簿

昭和60年3月刊行 全加盟館へ無料配布

7) 会報(菅原理事)

No.15, No.16の2回刊行 全加盟館へ無料配布

8) IFLAについて(宮島)

東京大会に向けての準備状況について

2)について渡辺理事より決算報告が別紙4Pのとおり報告された。また宮島監査より監査報告があり、いずれも承認された。

3)について有岡会長代行より説明された。まず予算案説明と同時に事業計画も平行して行われ、2, 3の質問が出た。

○予算案で8館増は確実なのか。

答) あくまで予想として見込んでいる。努力して少しでも加盟館を増していきたい。

○事業計画はほかにあるのか。

答) 予算にともなうものはない。

○図書館実務講座について

答) 一応予定している。

○事業計画に伴い、去る3月短大図書館関係団体の集りがあったそうだが、その中で事業計画で参考にな

る話題は出なかったのか。

答) 会合の趣旨はあくまで情報交換である。今後も会合を継続していきたい。

4)について、近畿地区より提案があり、会長候補選考委員会各地理事で構成を設け検討した結果、いずれの地区においても鈴木英二氏(千葉経済短期大学教授・図書館長)を次期会長候補としてすいせんすることになりましたので、提案します。承認。

次に会計監査について上沢田氏が次の二氏をすいせんするとの提案があった。

宮島敬久氏, 松本久子氏 承認。

次に会長すいせん理事について鈴木新会長より提案承認。会長, 監査, 会長すいせん理事の氏名は11Pの昭和60-61年度役員紹介を参照。

新会長あいさつ, 鈴木英二氏 5P

提案, 鈴木英二新会長より東海・北陸地区協議会会長代行しておりました故林勇一氏の冥福を祈って1分間の黙禱をいたしたいと思います。(黙禱)ありがとうございます。議事終了。

## 研修会「出版物の流通と出版情報システム」

期日: 昭和60年5月31日 午後2時30分~5時

会場: 日本出版販売本社ビル5階・7階

参加者: 71名

概要: まず日本出版販売本社図書館センター所長田中論氏より1時間余講演をしていただいた。内容は「出版流通と出版情報システム」について9つの柱を立てられ委託制と買切注文制について、ISBNコードとJANコード、図書の流れの変化、電算化へのステップ、コンピュータと図書館、出版情報と書誌情報、MARC(マーク)、オンライン化への道、オーダーエントリー・システムについて詳細に解説された。

このあと杉野女子短大大部の松井氏からマイコンによる発注受入業務の概要についてお話があり、デモンストラーションとして三省堂の「図書館総合管理システム」の実演が業者より行われ、質問があいついで出された。

このあと7階において新刊展示コーナーを見学した。

## 一般会計（私立短期大学図書館協議会）

昭和59年度決算

## 【収入の部】

勘定科目	予算	決算	備考
会費収入	1,960,000	1,976,000	247 × 8,000
研修会参加費	800,000	1,248,000	9,000 × 78 14,000 × 39
雑費	2,030	1,919	
前年度繰越金	117,970	117,970	
合計	2,880,000	3,343,889	

昭和60年度予算

## 【収入の部】

勘定科目	予算	備考
会費収入	2,040,000	255館 × 8,000円
雑費	991	
前年度繰越金	39,009	
合計	2,080,000	

## 【支出の部】

勘定科目	予算	決算	備考
事業費			
総大会	100,000	96,310	
研修会	750,000	1,172,582	
会報	230,000	182,000	No. 15. 16
加盟館名簿	150,000	240,630	
地区交付金	490,000	494,000	2,000 × 247
地区助成金	420,000	485,000	7地区 × 60,000
会費			
IFLA	40,000	40,000	
全図連	10,000	0	
会議費			
理事会	150,000	154,080	
本部役員会	150,000	175,718	
運営費			
役員交通費	150,000	130,000	13 × 10,000
消耗品費	20,000	9,600	
通信費	100,000	91,360	
事務局費	30,000	30,000	
雑費	20,000	3,600	
予備費	70,000	0	
小計	2,880,000	3,304,880	
前年度繰越金	0	39,009	
合計	2,880,000	3,343,889	

## 【支出の部】

勘定科目	予算	備考
事業費		
総大会	60,000	
会報	190,000	
名簿	200,000	
研修会	45,000	図書館実
地区交付金	510,000	255館 × 2,000円
地区助成金	440,000	7地区 × 60,000円 20,000(地区紀要)
会費		
IFLA	40,000	
会議費	140,000	
理事会	140,000	
本部役員会	140,000	
事務費		
役員交通費	140,000	14 × 10,000円
消耗品費	10,000	
通信費	80,000	
事務局費	30,000	
雑費	15,000	
予備費	40,000	
合計	2,080,000	

## 出版事業特別会計

昭和59年度決算

## 【収入の部】

勘定科目	予算	決算	備考
売上収入	400,000	0	
広告収入	450,000	0	
未収入金回収	830,000	759,750	紀要No. 5 売上分 309,750 紀要No. 5 広告料 450,000
雑収入	4,257	0	
前年度繰越金	225,743	225,743	
合計	1,910,000	985,493	

昭和60年度予算

## 【収入の部】

勘定科目	予算	備考
売上収入	400,000	
広告収入	500,000	
雑収入	727	
前年度繰越金	79,273	
合計	980,000	

## 【支出の部】

勘定科目	予算	決算	備考
発送経費	130,000	41,020	
PR経費	70,000	0	
印刷経費	780,000	0	紀要No. 6 刊行費(未刊行)
未払金支払	800,000	805,200	紀要No. 5 発送費未払分 55,200 紀要No. 5 印刷費未払分 750,000
予備費	130,000	60,000	
小計	1,910,000	906,220	
次年度繰越金	0	79,273	
合計	1,910,000	985,493	

## 【支出の部】

勘定科目	予算	備考
発送経費	130,000	
PR経費	40,000	
印刷経費	760,000	紀要No. 6 刊行費
予備費	50,000	
合計	980,000	

## 新会長あいさつ

鈴木 英二

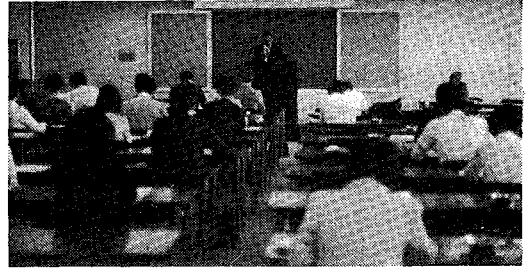
このたび皆様のご賛同をいただきまして、昭和60、61年度の会長に選出されました。大変光栄に存じますし、また責任の大きいことも痛感しております。

先程以来お話ありましたように、この協議会は昭和52年9月発足以来今年で8年目を迎えるわけですが、もり先生を会長にいただきまして役員一同会の発展充実のために沢山の仕事をされてこられました。

もり先生は皆さんよくご承知のとおり、図書館界の大先輩でありまして、図書館学の大闘であります。そういう方を会長にいただきまして、活動を続けてきたわけですが、そのあと私が引き受ける。まったく浅学非才といえますか、経験も浅く何ら実績らしいものも、もっているわけではなく、果してこの責任を負うことができるだろうか、自分ながら心もとない気もいたしております。

しかしながら短期大学図書館の充実発展のためには、この協議会が、しっかり発展充実のための中心的な役割を果たしていかなければならないわけです。

会員の皆様方のご協力、それから地区選出の理事の方々、あるいは会長すいせんの各理事の方々、そういった方々のご支援ご協力をいただきまして重大なこの責任を何とか果していきたいと決心しております。そういうことですので、今後皆様方の一層のご支援ご協力をお願いいたします。



## 地区活動報告

— 各地で多彩な事業計画 —

### <北海道地区>

当地区協は、私立短期大学図書館協議会の発足1年半後の昭和54年4月に、それまでの北海道地区短期大学図書館協会を発展的に解消して結成したものであり、今年度で7年目を迎えることになる。

現在16館が加盟し、微力ながらもこれまでに講演会、コンピュータ講習会を主催し、昨年度は念願の「北海道地区加盟館所蔵逐次刊行物綜合目録」を刊行することができた。今後は、新規加盟の促進など組織の強化をはかってゆきたい。

昭和60年度総会（於北海道武蔵女子短大）開催5月10日（金）午前の役員会にひきつづき、午後1時から今年度総会を開催し、昭和59年度活動報告と決算報告を承認。

ついで60、61年度の役員を次のように選出した。（ただし、幹事、監査については後日会長から委嘱することを承認）

会長	坂本 龍三	北海道武蔵女子短大教授
幹事	三木 太郎	岩見沢駒沢短大図書館長
〃	柴田 泰	札幌大谷短大図書館長
〃	溝淵 忠雄	静修短大図書館事務長代理
〃	連池 穰	北星女子短大図書館長
監査	白佐 俊憲	北海道女子短大図書館長

さらに、60年度の事業計画案ならびに496,784円の子算案が提出され、何れも承認された。

### <東北地区>

今回の報告は、「昭和60年度全国図書館大会」（仙台大会）の地元として、地区の全力を挙げて大会の準備（特に「第4分科会短大図書館（含高専）」への取り組み方、プラン作りに集中してきましたので、この件について記します。

仙台大会の大会テーマは「生涯学習の時代に応える図書館づくりを進めよう」というもの、前回の大阪大会の大会テーマは「情報新時代の図書館づくり」であった。

関西図書館界の「地力」と関西財界をバックとして、まことに絢爛華麗の中に、有意義に終始したのであった。

翻って、バトンを渡された東北地区はどうか。これは前号にも記した通り「六無齋」ならぬ図書館も少ない。学校も少ない、図書館人も少ない、しかも宮城県仙台市は、今まで一度も「全国図書館大会」を引き受けたことがない、という「ないない尽くし」という状況である。

しかし、一旦引き受けた以上は、何が何でもやらねばならぬ訳で、孫呉の兵法ならぬ文字通り「背水の陣」を布いて、昨年4月以来、取り組んで来た次第である。

問題は「分科会テーマ」の設定である。研修の目標を決定することでもあり、全国大会の成果は各分科会の研修討議の緩和によって評価される。しかも、全国大会の分科会テーマは、全国レベルのスケールと内容を持つことが必要である。

幾たびか、試行錯誤を重ねたが、結局落ちついたのは大阪大会の分科会の基調報告（鈴木英二先生）がヒントとなって、制定以来30年を経過した短期大学の教育そのものを洗い出してみよう。そして、図書館はその現状に対してどのように対処して行けばよいのか？ということに落ちついた。なお、各方面の意見を参考にした上、「短期大学（含高専）における教育の現状分析と、これに対処する図書館はいかにあればよいか」というテーマにして、もり・きよし先生の御教示を仰いだところ、ズバリ決刀乱麻を断つ名裁決を示された。曰わく『短期大学（含高専）における教育の現状と図書館のあり方』と。

大所、高所からのすばらしい御教示であった。

御教示を得て、地元のわれわれは欣喜雀躍、このあとはともにインスピレーションが冴え、教育の現状を洗い出すには各方面、各ポジションからの名パネラーを得て、「パネルディスカッション」の討議方法が最適である、という結論に達した。

では、これに対処する図書館のあり方（短大教育に大いにプラスとなり、短大教育を向上させる方策）はどうして提示するかとなったが、これも、もり先生からのヒント「いろいろと並べないで集中して考えられるものにせよ」に従って「図書館の利用指導」（学生を一人でも多く図書館に足を向けさせる、勉強できる環境に馴染ませる）一本に絞り、それぞれの立場から平素熱心に実践しておられる3人の方に御発表をお願いすることになった。

お蔭様で、今秋10月に全国大会を控えて、6月末現在分科会の内容一切が決定（文部省担当官は7月中に内定の予定）となった。御多忙の中を勇躍パネラーとして壇上に上られる方々。緻密周到な「図書館利用指導」の実践成果を御発表下さる方々と「利用指導」問題採択に貴重な御助言をいただいた丸本郁子先生（大阪女学院短大）には衷心より感謝の念でいっぱいである。

今秋10月の全国図書館大会仙台大会は各方面の方々の御後援と御教示によって、有意義な成果が得られるのではないかと期待し、全力を尽くしたい所存である。（中村）

### 〈関東・甲信越地区〉

- ・会勢報告 昭和59.3.31 現在 81館
- ・新加盟館 松蔭女子短期大学図書館

### ・活動報告

#### A 第1回幹事会

昭和60年5月20日 午後2時～  
目白学園短期大学図書館

#### 議 題

- a 昭和60年度総会について
- b 昭和60年度予算案及び活動方針について
- c 昭和59年度決算について

今年度新規業務として合宿研究会を行うことにし、そのための予算計上を図った。

#### 第2回幹事会

昭和60年6月26日 午前11時30分～  
私学会館ロビー

#### 議 題

合宿研修会の内容についての検討  
合宿研修会は11月初旬～中旬の土・日曜日をあてる。広報と案内をかね、会報を発刊する。（費用をかけずワープロ入力のもの）

#### B 昭和60年度総会

昭和60年6月26日 午後1時  
私学会館

参加者 23館 24名 委任状 41通

#### 議 題

- a 昭和59年度活動報告
- b 昭和59年度会計報告
- c 昭和60・61年度役員選出
- d 昭和60年度予算案及び活動報告

以上原案の通り承認された。

昭和60・61年度役員は下記の通り。

- 会長 毛利和弘（日本経済短大図書館）
- 監査 平井紀子（文化女子大短大部図書館）
- 幹事 馬場直子（立教女学院短大図書館）
- ” 中林美智子（目白学園短大図書館）
- ” 古賀実生（千葉経済短大図書館）
- ” 上沢田浩（女聖学院短大図書館）

#### C 見学会

昭和60年6月26日 午後2時～  
日本科学技術情報センター  
内 容

- ・JICST 広報用ビデオ
- ・資料管理システム
- ・その他

## 〈東海・北陸地区〉

### 〈研修委員会報告〉

日時：昭和59年12月17日(月)

午後1時30分～4時

場所：愛知淑徳短期大学

出席：4校(愛知淑徳・暁学園・大垣女子・東海学園女子)

#### 審議事項

(1) 実務講座第2期第2回「参考業務の運用について」の参考資料として使用するアンケート調査について

(2) 「相互利用ハンドブック」改訂版について

日時：昭和60年1月31日(木)

午後1時30分～4時

場所：愛知淑徳短期大学

出席：4校(愛知淑徳・暁学園・大垣女子・東海学園女子)

#### 審議事項

「図書館相互利用及び文献目録・索引類に関するアンケート調査」の集計について

### 〈図書館実務講座(北陸地区)第1期第3回〉

日時：昭和60年3月8日(金)

午前11時～午後4時15分

場所：北陸学院短期大学

出席者：11名(6校)

講座内容：「学生の貸出を伸ばすために」

(1)「オリエンテーション」

発言者：若槻昌子氏(北陸学院短期大学)

(2)「利用指導」

発言者：尾田真知子氏(北陸学院短期大学)

(3)「日常業務の中で」

発原者：高島涼子氏(北陸学院短期大学)

大西敏子氏(北陸学院短期大学)

### 〈図書館実務講座 第2期第2回〉

日時：昭和60年3月18日(月)

午前10時30分～午後4時

場所：東邦学園短期大学

出席者：28名(19校)

講座内容：「参考業務の運用について」

講師：醍醐光子氏(東海学園女子短期大学)

### 〈編集委員会報告〉

日時：昭和60年3月18日(月)

午後12時30分～1時

場所：東邦学園短期大学

出席：4校(愛知淑徳・一宮女子・東邦学園・名古屋)

#### 審議事項

「会報14号」の編集について

### 〈昭和60年度第1回幹事会〉

日時：昭和60年5月16日(木)

午前11時30分～午後4時

場所：愛知淑徳短期大学

出席：9校 12名(北陸学院・金沢女子・愛知淑徳・暁学園・名古屋・東邦学園・東海学園女子・一宮女子・大垣女子)

#### 議事

1. 昭和59年度事業報告及び決算報告

2. 昭和60年度事業計画及び予算案

3. その他

(1) 雑誌目録販売状況

(2) 昭和61・62年度会長校選考について

(3) 本部長候補の選考について

### 〈研修・編集委員会報告〉

日時：昭和60年5月16日(木)

午前11時30分～午後1時

場所：愛知淑徳短期大学

#### I 研修委員会

出席：5校(愛知淑徳・暁学園・大垣女子・東海学園女子・北陸学院)

議事：総大会の運営及び研修会開催について

1. 総大会

日時：昭和60年9月20日(金)

午前11時30分～午後4時

場所：東海学園女子短期大学

(1) 総会 午前11時30分～午後12時30分

ア 進行係 会場校

イ 議長 開催地区幹事

ウ 挨拶 会長

会場校学長

(2) 見学

関山文庫(古文書中心)

(3) 講演会 午後1時30分～午後2時30分

講師：松井利彦氏(予定)(俳句研究家)

(4) 研究会 午後2時45分～4時

フリートーク(事前アンケートを中心として)

2. 研修会

テーマ：文書事務について

時期：昭和60年11月

会場・講師：未定

#### II 編集委員会

出席：5校（愛知淑徳・一宮女子・東邦学園・名古屋）

議事：会報14号の原稿タイプうち、印刷、製本等の役割分担と次号の記事内容の検討

1. 7月1日発行予定の会報14号の原稿がほぼ集まった段階である。5月中にタイプうち完了、6月印刷、製本をめどとして次のように役割を分担した。

タイプ—淑徳・東邦・名古屋

印刷・製本—淑徳

2. 目次のレイアウト、記事掲載順序について検討した。
3. 次号15号も今回同様、特集記事を組む事に決める。詳細については9月20日の委員会で決定する事になった。

### 〈近畿地区〉

（総会及び第13回研修会）

日時：昭和60年5月11日（土）

総会：午後2時～3時

研修会：午後3時～4時30分

会場：神戸山手学園友松会館

参加者：28館50名

（総会）

昭和59年度会勢・事業報告、会計報告

昭和60・61年度役員選出

理事校 帝塚山短期大学

幹事 大谷女子短期大学

神戸山手女子短期大学

会計監査校 奈良佐保女学院短期大学

昭和60年度事業計画・予算

近畿地区協議会会則改正

私立短期大学図書館協議会会長改選

（研修会）

講師：豊後レイコ氏（前大阪アメリカン・センター）

テーマ：「ウィンチェル女史にみるレファレンス・ワークの本質」

（幹事会）

日時：昭和60年6月15日（土）午後2時～5時

場所：帝塚山短期大学図書館

出席者：理事・幹事・監査 全員出席

議題：図書館見学、研修会テーマ、年間スケジュール等

### 〈中国・四国地区〉

われらの中国・四国地区協議会は地理的事情はかいろいろの条件が整わず、総会・研究会等の開催の機会を得ず、前年度に於ては文書による事務連絡以外は「加盟図書館全職員名簿を作製」（昭和59年10月現在）各館に配布した程度にとどまり事務局としても反省している。

さて、60年度内には必ず研究会を中心とする地区総会開催を期しており、累積している諸案件、殊にラLA短期大学図書館部会もかねてから継続事業として推進しつつある「短大刊行紀要の全国書誌収録促進」運動について、先ず各短大刊行の紀要を相互交換し、地区短大図書館の全てが、地区短大紀要の全てを蔵書とすること。又、必ず国立国会図書館へ納本すること。次に現代図書館最大の課題とも云える生涯学習の要求に応える図書館活動としての「図書館相互協力ネットワークの促進」即短大図書館と地区公共図書館との緊密な協力による。大学エクステンションの一環として地域社会に於いて短大図書館が教育・文化センターとしての機能を高めること。

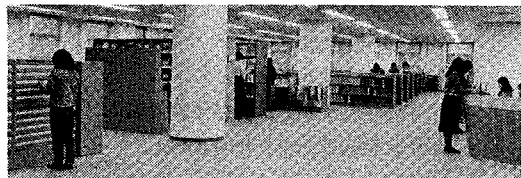
又、図書館利用指導ワークショップの実施により、入学時の段階の利用指導を主体的に実施推進できるよう図書館職員の研修を実施することを計画している。

### 〈九州地区〉

〈未着〉



## ＜短大図書館めぐり 第17回＞



東急大井町線の等々力駅で下車，歩いて10分の所に本学はあります。周囲は住宅地でまだ所々に鳥などもある閑静な場所ですが，たまたまどういふわけか図書館はバス通りに面してしまいました。

本学は昭和31年，家政学科を開設してそのうぶ声をあげましたが，昭和41年には国語国文学科と英語英文学科を増設して，現在では1,650名の学生がおります。これまでの図書館は昭和41年にできた文科校舎にありましたが，この数年間，毎年のように開架書庫を拡げたり，また利用度の少ない古い図書を別の建物に保管したりして，新図書館の誕生を一日千秋の思いで待ち望んでいました。

さて，その新図書館ですが，本学の場合，家政科校舎と文科校舎が少し離れているので，丁度その中間に位置する場所に複合建造物の一翼を担う形で出来上りました。この建物は中庭を囲んで管理棟，女性文化研究所，礼法室，教室，食堂，クラブ部室，それに図書館棟とからなっており，延床面積は7,673㎡あります。

図書館は地下1階，地上2階建て，延床面積は2,694㎡あり，将来は3階も増築できるように設計されています。そして昭和58年7月に起工し，1年3カ月の59年10月に竣工して，11月6日から開館いたしました。現在の蔵書冊数は83,000冊ですが収納可能冊数は約18万冊で，閲覧席は255席，視聴覚席は37席となっております。

館内の配置を申しあげると，1階入口にはブックディテクション装置（3M方式）があり，カウンター，目録ホール，新聞雑誌コーナー，レファレンスルーム，ラウンジ，館長室，事務室などがおかれ，2階には開架閲覧室と教員閲覧室（個室7），それに女性研究資料ライブラリーの図書も利用することができます。また，地階には利用度の低い図書や，雑誌・紀要などのバックナンバーを保管する電動集密書庫（開架），貴重書，稀本などを保存するための貴重書庫も作りしました。ドライエリアに面したところには，セミナー室（2室）とグループスタディールーム（2室）を設置しました。視聴覚関係の設備もこの地階に集めました。AVルーム（2室）は防音設備をし，レーザーディスク，ビデオテープ，レコード，コンパクトディスク，カセットテープの5種類をスピーカーを通して視聴できるので，いつも“使用中”で

### 東横学園女子短期大学図書館

す。このほか，ビデオルーム（16席）とリスニングルーム（8席）はヘッドホンによる利用となっています。

ところで，新図書館の建設に当り特に考慮したことは，次のとおりです。

できるだけ多くの図書を開架にし，閲覧席を隣接させる。

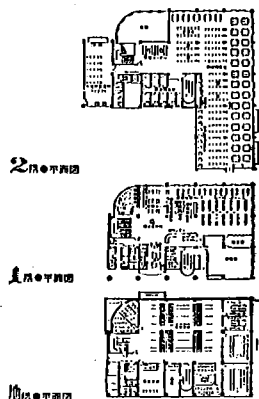
利用しやすく，親しみやすい図書館にし，快適な読書環境を提供する。そのためには閲覧機はもとより，書架についても木製とし，椅子は布張りにし，床はカーペット敷として，全館冷暖房の設備をする。また，閲覧機は自分だけの世界にひたれるよう主として衝立つき照明つきのものにする。

視聴覚設備も充実させる。

各学科，課程や，教員に長期貸出されていた図書を返却してもらい，集中管理にする。

現在の利用状況とはいえば，開館以来7カ月たちましたが，入館者数については2～3倍にふえましたし，後期定期試験の時期には，一日の入館者が約1,000人という日も出てきています。ただ図書貸出の係員は，入館者数の割には館外貸出冊数がふえないと云っております。やはり，視聴覚関係の利用が多すぎるのが現状のようです。

今後の課題は機械化だと考えていますが，幸いにも，この4月から館長になられた河野徳吉教授はその方面の専門家ですので，指導していただけることを大変ありがたいと，心強く思っております。（岡野盛繁）



## ＜ 事 務 局 報 告 ＞

### △会 勢

北 海 道	16	近 畿	55
東 北	13	中 ・ 四 国	23
関東・甲信越	81	九 州	28
東海・北陸	31	合 計	247

### △会 議

#### 1. 昭和60年度全国理事会

期日：昭和60年5月30日

場所：全国婦人会館

出席：本部役員，地区協議会理事

#### 議事 I 昭和60年度総会への提出案件について

- 1) 昭和59年度会勢，事業報告(渡辺・菅原・網本)  
会勢，事業全般，会報，紀要，IFLA
- 2) 昭和59年度地区活動報告(各理事)
- 3) 昭和59年度決算報告(渡辺)
- 4) 同 会計監査報告(松本)
- 5) 昭和60年度事業計画，予算案(渡辺)
- 6) 昭和60・61年度役員について

#### II その他

#### 2. 本部役員会

##### ○昭和59年度第6回〔60.2.18(月)日本図書館協会〕

#### 協議事項

1. 紀要6号の件
2. 加盟館名簿の件
3. 次期運営体制の件
4. 昭和60年度総会の件
5. 昭和60年度事業の件
6. その他

##### ○昭和59年度第7回〔60.3.22(金)全国婦人会館〕

#### 協議事項

1. 昭和60年度総会の件
2. 昭和60年度事業計画の件
3. 次期運営体制の件
4. 紀要6号の件
5. その他

##### ○昭和60年度第1回〔60.4.25(木)日本図書館協会〕

#### 報告事項

1. 事務局より
2. その他

#### 協議事項

1. 昭和60年度総大会の件

2. 昭和60年度研修会の件

3. 昭和59年度決算案の件

4. 昭和60年度事業計画及び予算案の件

5. 短期大学図書館研究No.6の件

6. その他

##### ○昭和60年度第2回〔60.5.23(木)共立女子大学〕 協議事項

1. 昭和60年度総会提出議題の件

① 会勢，事業報告

② 昭和59年度決算案

③ 昭和60年度事業計画・予算案

④ 役員選出

⑤ その他

2. 昭和60年度総大会の運営の件

3. 昭和60年度加盟館名簿作成の件

4. その他

### △九州地区で雑誌総合目録刊行なる。

加盟館28館の協力によって地区内所蔵の雑誌(学術雑誌，学会誌，協会誌，PR誌)の和・洋誌合計2,121誌を収録した。調査期日は83年5月1日現在のもの，85年4月刊行された。頒価2,000円(送料共)

申込 九州地区私立短大図書館協議会事務局

〒852 長崎市三つ山町235

純べ女子短期大学図書館内 ☎0958-46-0084

### △東海・北陸地区協議会会長代行林勇一氏死去。

昨年暮から入院生活を続けておりましたが，4月3日永眠されました。つつしんでご冥福をお祈りいたします。〈追悼文参照〉1～2p.

### △昭和60年度加盟館員名簿

今年度は早く刊行したく現在，編集をすすめている。

### ○短期大学図書館関係団体懇談会開催

60年3月29日，日本図書館協会，公立短大図書館協議会，私立短大図書館協議会，日本私立短期大学図書館研究委員会，東京都私立短期大学図書館研究会，日本図書館協会短大図書館部会よりそれぞれ2名が出席して，短大図書館関係団体の情報交換の機会をはじめて設けて有意義な会合であった。例えば研修会についても日時を重ならないように，内容も分担して実施してはなどなど，今後も情報交換を続けていこうということになった。

## 昭和60—61年度役員紹介

名誉会・顧問	もり きよし
顧問	安部 圭己
"	芝原 翠
会長	鈴木 英二 (千葉経済短期大学)
監査	宮島 敬久 (共立女子短期大学)
"	松本 久子 (関東学院女子短期大学)
理事	有岡 章 (鶴見大学女子短期大学)
(会長推薦)	網本 正己 (調布学園女子短期大学)
"	片山喜八郎 (国学院大学栃木短期大学)
"	小町エミ子 (桐朋学園大学短期大学)
"	菅原 春雄 (文教大学女子短期大学)
"	高橋 道枝 (鶴見大学女子短期大学)
"	山井 康司 (日本体育大学女子短大)
"	吉岡 盤彦 (相模女子大学短期大学)
"	渡辺 敏一 (東京女子大学短期大学)
(地区選出)	坂本 龍三 (北海道武蔵女子短期大学)
"	中村 泰正 (山形女子短期大学)
"	・毛利 和弘 (日本経済短期大学)
"	千葉 善根 (愛知淑徳短期大学)
"	高浜 洋一 (帝塚山短期大学)
"	永田 政章 (今治明德短期大学)
"	出口セイ子 (純心女子短期大学)

## \* 理事会構成メンバー

会長(1), 監査(2), 地区選出理事(7), 会長推薦理事(9), 及び顧問(3)

## \* 本部役員会構成メンバー

会長(1), 監査(2), 会長推薦理事(9), 関東地区役員(2), 及び顧問(3)

## 昭和60年度短大図書館関係行事予定

・日本私立短期大学協会図書館研究委員会による。

図書館担当者実務研修会

期日：60年7月17日～19日

会場：金沢工業大学 他

・日本図書館協会短期大学図書館部会

第3回図書館利用指導ワークショップ

日時：60年8月1日～2日

会場：西南女学院短大図書館

講師：丸本郁子氏 伊藤松彦氏

・東京都私立短期大学協会図書館研究協議会

日時：60年9月5日～6日

・日本図書館協会昭和60年度全国図書館大会

短期大学図書館分科会

テーマ「短期大学(含高専)における教育の現状と図書館のありかた」

期日：60年10月31日

会場：仙台市 仙台市戦災復興記念館

△原稿募集 ご投稿お待ちしております。

会報は加盟館に最新の情報をお届けするわけで、積極的なご投稿、よろしく願います。期日はとくに定めませんので、思い出したらすぐ書いて出していただければ幸いと存じます。内容は、新館紹介“貴館における問題点、交換コーナー、求人、求職コーナー、地区における話題”等、何でもどしどしお送りくださいますよう、となりの人にもよびかけてください。

編集後記：会報第17号をお届けいたします。去る5月31日、昭和60年度総大会が開かれ、役員選出新会長就任、発足以来今年で我が協議会も8年を迎えます。これまで地区で、本部で種々の業績を重ね他の協議会からも注目されております。それは自主的活動を基盤として会員校相互の協力から成され、評価されたものと思います。

これまで続けてきた全国研修会は今年は諸事情で開催されませんが、各地での自主的活動を積極的に実施されますよう期待します。そしてその成果を、この会報に紹介してください。(すがわら)

## 出版 物 案 内

私立短期大学図書館協議会

○会 報 年2回 現在17号

## ○資料組織化の実践

遠藤英三著 B5判 411頁

頒布価格 2,300円

申込先 私立短期大学図書館協議会

〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1

東京女子大学短期大学部図書館内

電 話 (422-45-4145 内234)

## ○私立短期大学図書館総覧 1979.3.31

B5判 700頁 頒布価格 3,500円

## ○私立短期大学図書館総覧 一集計・分析一

1980.10.31

B5判 66頁 頒布価格 2,500円

## ○短期大学図書館研究

1号 80.3.31、

2号 81.3.31 } 頒布価格 各2,800円

3号 82.3.31、

4号 83.3.31 頒布価格 3,000円

5号 84.3.31 頒布価格 3,500円

## ○改訂版 図書館員になるには

〔資格と就趣のガイド〕

菅原春雄編著 A5判 194頁

1984.7.1発行 頒布価格 1,500円

申込先 株式会社 新日本印刷

〒105 東京都港区虎ノ門1-25-12

電 話 (03-503-0428)

## ○日本十進分類法新訂7版-8版比較表

北九州司書の会編 私立短期大学図書館協議会1983

109頁 A5判 頒布価格送料共 800円

申込先 〒803 北九州市小倉北区井堀1-3-2

西南女学院短期大学図書館内 北九州司書の会

電 話 (093-561-2631-313)

○私立短期大学  
図書館協議会 北海道地区協議会編

〔逐次刊行物総合目録 1984年版〕

B5判 215頁 頒布価格 3,000円(送料共)

申込先 札幌市北区22条西13丁目

〒001 北海道武蔵女子短期大学図書館学研究室内

坂本龍三

## ○関東・甲信越地区私立短期大学図書館雑誌紀要

総目録 1980 兼目 恵子編 55.7.31発行

B5判 253頁 頒布価格 3,300円

申込先 〒328 栃木市錦町5-26

ふろんていあ 電話(0282-24-6081)

## ○東海・北陸地区私立短期大学図書館雑誌目録

1982 B5判 頒布価格送料共 3,000円

申込先 〒464 名古屋市中種区桜が丘23

愛知淑徳短期大学附属図書館内

私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会

電 話 (052-781-1151)

## ○近畿地区短期大学雑誌目録 1980.3月現在

55.9.1発行 B5判 194頁 頒布価格 3,000円

## ○同 補遺版 1981.7.5現在

B5判 52頁 頒布価格送料共 500円

申込先 〒631 帝塚山短期大学図書館

電 話 (0742-43-4433)

## ○九州・沖縄地区私立短期大学図書館所蔵

雑誌総合目録 1984.7.1現在

編集・発行：九州・沖縄地区私立短大図書館協議会

申込先 〒852 長崎市三ツ山町235

純心女子短期大学図書館内

電 話 (0958-46-0084)